

平成26年度 第21回放送番組審議会議事録

【開催日時】 平成27年3月18日(水) 10:30~12:00

【会 場】 江東区産業会館 第一会議室

【番組審議委員】(50音順)

秋山利裕 委員 (江東区観光協会 代表理事)
石島龍治 委員 (江東区商店街連合会 会長)
片山祐子 委員 (タウン誌深川 編集人)
小松和也 委員 (中央FM株式会社 代表取締役)
丸山聡一 委員 (深川八幡宮 権宮司) 文書出席
井上 仁 委員 (江東区医師会 顧問) 欠席
鈴木章夫 委員 (築地食のまちづくり協議会 理事長) 欠席

【会社側出席者】

代表取締役社長	平田和俊
取締役	河野尚行
放送部部长	丸山博行
放送部企画編成G	山賀正浩
放送部企画編成G	中島紀志
放送部放送制作G	阿部文彰
放送部放送制作G	三橋広典

【議 事】

- 1)出席者紹介:丸山部長
- 2)開会挨拶:平田社長
- 3)議事:山賀
 - ①放送基準改訂報告
 - ②前回のご意見を受けて
 - ③自主制作番組の取組
 - ④平成27年度の主な取組
- 4)委員の皆様からのご意見
- 5)閉会挨拶 平田社長

【平田社長冒頭あいさつ】

地域の皆様のお役に立てるチャンネルとするため、皆様の貴重なご意見を番組編成に活かしていきたいと思っておりますので、忌憚のないご発言をお願い致します。

【委員各位からのご意見】

- ①LIVE中継は労力も必要だが‘ファン’もつくはず
- ②きらきら一年生は朗らかで楽しい。是非継続すべき
- ③区民が参加出来る(パブリックアクセス)番組を増やすべき
- ④マイノリティを対象とした番組により、その対象をマジョリティにするのも地域メディアの役割では？
- ⑤キー局とは違う、ケーブルテレビの個性を出すことが大切
- ⑥ケーブルテレビの個性として、素材をすべて放送する番組は良い
- ⑦これからは‘地域情報’を全国に発信することで、地域活性を図って欲しい
- ⑧ミニFMやミニコミ誌など、地域メディアと連携することで相乗効果が得られるのでは？
- ⑨貴重な出来事や風景などは、4K素材でアーカイブすべきでは？
- ⑩オリンピック開催に向けた地域の動き(外国人観光客対応、交通対策)は今後のニュースソースとなる
- ⑪レポート放送や過去番組の再放送は、見る側にとっては有りがたい一面もある
- ⑫住環境をアピールする番組は、不動産販売や人口流入にとってなくてはならなくなっている
- ⑬観光協会などが主催する地域イベントと番組がコラボ出来たら楽しくなりそう
- ⑭お祭り9時間生中継は、スタジオと中継先のテンポも良く、臨場感が伝わりとても良かった

【平田社長閉会あいさつ】

自然や歴史が残り、開発と文化が融合するこのエリアにとって、役立つケーブルテレビ局で有り続けたい。そのためにみなさまからの貴重なご意見を、喜ばれる番組作りに反映させていきたいと思っております。

終了

以上